



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 聖路加国際病院 臨床研修部 富谷紘加

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床研修部 富谷紘加

【指導医】

聖路加国際病院 産婦人科 塩田 恭子

当院で腹腔鏡下子宮全摘術を施行した方を対象とした 手術の安全性に関する研究

1.研究の対象

2017年1月1日から2022年8月31日までに当院で子宮筋腫に対して腹腔鏡下子宮全摘術を受けられた方

2.研究の目的・方法

腹腔鏡下子宮全摘術は開腹手術と比較して身体への負担が小さく術後の早期回復が見込める手術となっており、子宮マニピュレーター（腹腔鏡下での子宮操作や卵管通色素検査に適した手術器械）で子宮を固定、移動しながら行います。合併症として子宮穿破があり、MRIなど画像上の子宮底長の測定結果との関連を調査することで、子宮穿破のリスクを事前に評価できるようにすることを目的としております。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2023年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、手術歴、併存疾患、MRI、CT、超音波画像データ、カルテ番号、年齢、身長、体重、BMI 等